

# 国公立用 早期申請書記入例

本年度4月1日時点での状況で申請してください。  
黒の消えないボールペンで記入してください。

国公立用(1年早期申請4~6月分)

の状況で申請してください。

奈良県教育委員会 殿

申請日 令和6年4月11日

令和6年度 奈良県高校生等奨学給付金 4月2日から締切日までの日付を記入してください。

授業料以外の教育に必要な経費に活用するため、奈良県高校生等奨学給付金の給付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

フリガナ	ナラ ミヤコ	申請者 (保護者等)	〒630-8502 奈良県 奈良市登大路町30	郵便番号も忘れず記入してください。
申請者の住所	奈良 都	申請者の住所	連絡先電話番号(0742-27-9859)	
高校生等との関係	親権者 / 未成年	該当する関係1つに○をつけてください。		
対象となる高校生等	生徒氏名	奈良 一郎	生年月日(4/1時点)	昭和60年8月18日(15歳) 平成
	在学する学校名	1年 1組(出席番号 20)	入学年月	令和6年4月
	学校名(全日制/通信制/定時制課程)	国立 都道府県立 市町村立	4月1日の時点での年齢を記入してください。	
	立	奈良県立あおによし高等学校		
転学・退学等による過去の高等学校等における在学期間	学校名(全日制/通信制/定時制課程)	在学期間	年月日~年月日	
	立	給付金受給回数	0回 1回 2回 3回 4回 その他( )回	
	学校名(全日制/通信制/定時制課程)	在学期間	年月日~年月日	
	立	給付金受給回数	0回 1回 2回 3回 4回 その他( )回	

【1】確認事項 [1]~[3]および裏面の【4】【5】の該当箇所すべてに記入してください

下記のすべての事項について確認のうえ、□にレ点をつけて自署をしてください。

- 1. 本申請書や添付書類等の記載内容に相違のないことを誓約します。
- 2. 提出書類の記載内容に相違のないことを誓約するための確認になっています。全て確認のうえ、レ点を忘れないようにしてください。
- 3. 私は、高校生等※について、奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
- 4. 高校生等※は、児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高中生等を除く))の支弁対象ではありません。
- 5. 高校生等※について、高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、( 0 )回です。必ず自署してください。

申請者(保護者等)署名 (自署) 奈良 都

【2】申請区分について

今回申請される世帯区分に○を記入してください。(1箇所のみ記入してください。)

該当する世帯区分の1つに○を記入してください。

	世帯区分
	生活保護(生業扶助)受給世帯
②	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯(①と③を除く)
③	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯で、対象となる高校生等の他に、高校生等または、15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹がいる2人目以降の高校生等の世帯(①と②を除く) ※1人目の高校生等は②

【3】生活保護の受給状況について

基準日(令和6年4月1日)現在の世帯について、該当するものを選択してください。

1	<input type="checkbox"/>	生業扶助(生活保護)を受給しています。 → 「生活保護受給証明書」を添付してください。
2	<input checked="" type="checkbox"/>	生業扶助(生活保護)を受給していません。

【3】の1にチェックされた方の記入はここまでです。 それ以外の方は、裏面へ続きます。

【2】の申請区分で①を記入された方は以降記入不要です。

<【2】②または③を選択された方>

【4】保護者等の所得の状況について

次の者の課税証明書等を提出します。1から5の中から、該当するものを選択してください。

1	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者(父と母)2名分 又は 生計維持者 注1(父と母) 2名分 <b>該当するところにシ点を記入してください。</b> ※保護者の一方、または双方が海外赴任で道府県民税所得割及び市町村民税所得割が確認できない場合は、支給対象外です。	課税証明書等の提出が必要(省略不可) (父又は母)1名分 施設施設の長である場合は、その者を除く。) 注1)が1人の場合 又は主たる生計維持者 注1)が父のみ又は母のみの場合
2	<input type="checkbox"/>	令和6年4月1日に親権者(又は主たる生計維持者 注1)が2名存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者(又は主たる生計維持者 注1)の1名の課税証明書等を提出できない場合 (例)DVにより一方の証明書等が添付できない等 →提出できない理由を記載した申立書(様式は不問)を提出してください。	
3	<input type="checkbox"/>	未成年後見人( )名分 ←親権者がおらず、未成年後見人が保護者である場合 (親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)) ※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	
4	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分(欄外注1に該当する場合を除く) ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (例)祖父母や兄弟等に養育されている等 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合 (例)入学時点で生徒が成人しており、かつ両親・配偶者等の扶養になっている等	
5	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等	

注1 1, 2の生計維持者：生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から基準日(令和6年4月1日)まで生計を維持する者(1の場合は父と母、2の場合は父又は母)に変更がない場合に該当

課税証明書等を提出する保護者等の氏名及び生徒との続柄

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
奈良 都	母	奈良 鹿男	<del>親子</del> 父

【2】の申請区分で①②を記入された方は以降記入不要です。

★書き間違えた時は、黒のボールペンで二重線を引いて、近くの空いているところに書き直してください。

【5】令和6年4月1日現在の、15歳(中学生を除く)以上の兄弟姉妹の状況

●続柄は、生徒本人を基準としてください。

※対象兄弟は平成13年4月3日から平成21年4月2日生まれの方です。

・中学生以下の方は、記入不要です。

続柄 (例 兄・姉等)	氏名	続柄は、対象となる生徒からみた関係を記入してください。(「長男・長女」ではなく「兄・姉」etc...)	養われている 姉妹※に○
生徒本人	奈良 一郎	S・H 20 / 8 / 18 県立あおによし高校 1年	
兄	奈良 次郎	S・H 19 / 5 / 25 私立大仏高校 2年	○
姉	奈良 よしの	S・H 11 / 10 / 17 バイト	
		S・H / /	
		S・H / /	

氏名は全員同姓であったとしても、確認のため正確に記入してください。

高校生の場合は、本年度の学年も忘れずに記入してください。

<学校記入欄>

上記の生徒は、基準日(令和6年4月1日)に、本校第 \_\_\_\_\_ 学年に在学し、  
 就学支援金または学び直し支援金の受給資格を有し、休学していないことを証明します。  
 令和 6 年 月 日

学校名 \_\_\_\_\_  
 学校長名 \_\_\_\_\_

学校担当者 \_\_\_\_\_ 問い合わせ電話番号 \_\_\_\_\_

学校記入欄には何も記入しないでください。